

大阪府委託訓練事業（知識等習得・企業実習付コース）企画提案書

予約をした受付日

令和〇年〇月〇日

大阪府知事様

住所 大阪市住之江区南港北1-14-16
機関(法人)名 株式会社 ○○○○○○○○
代表者職・氏名 代表取締役 ○○ ○○

大阪府が実施する次の委託訓練を受託したく企画提案書を提出します。

1 訓練の種別 (O) 知識等習得コース () 企業実習付
2 科目番号 R●●
3 枝番 A B D E F
4 科目名 ○○○○○科(4か月)
5 訓練実施施設名 ○○○○○○○○校
6 1コース当たりの定員 30人 (6人)
7 受託上限枝番数 枝番数: 2
8 1コース1人当たりの訓練実施経費
9 企画提案書添付書類
【託児サービスの提案】 有 [X] 無 []
10 託児可能人数 3人
11 託児実施施設名 ○○○保育園 (所在地: 大阪市○○区○○町1-1)
12 【企業実習付訓練 企業実習受入先及び所在市町村名】
団体名・企業名 株式会社○○○
所在市町村名 大阪市○○区○○町3-4

◆本様式は、提案する科目番号ごとに1枚作成すること。

大阪府委託訓練事業（長期高度人材育成コース）企画提案書

予約をした受付日

令和〇年〇月〇日

大阪府知事様

住所 大阪市住之江区南港北1-14-16

機関（法人）名 学校法人 ○○○○

代表者職・氏名 理事長 ○○ ○○

大阪府が実施する次の委託訓練を受託したく企画提案書を提出します。

1 訓練の種別	長期高度人材育成コース						
2 科目番号、科目名 <small>※提案する科目の該当欄（ ）に○印を記入すること。 ※L03からL05の科目を提案する場合は、科目の該当欄【 】に長期仕様書L-11「8訓練内容(1)」の該当する番号を記入すること。 ※L05の科目を提案する場合は、科目名を併せて記入すること。</small>	L01 介護福祉士養成コース	(○)					
	L02 保育士養成コース	()					
	L03 言語聴覚士養成コース	()					【 】
	L04 自由提案	科目番号内の枝番で受託を希望する枝番に全て○をする。選定は、科目番号ごとに総合得点の最も高い提案者から、枝番のAからアルファベット順に、1コースを決定する。					
	L05 自由提案						
科目名：							
3 提案する科目番号の枝番号 <small>※科目番号の枝番は複数提案可能のため、受託を希望する枝番には全て○をつけること。</small>	枝番	A	B	C	D	E	F
	受託希望	○	○	○			
<small>※訓練期間を選択できる科目については、訓練期間を選択すること</small>	訓練期間						
4 訓練実施施設名	○○○○○○○○校						
5 受託上限枝番数	枝番数： 1						
6 1コース当たりの定員 （開講可能最少人数）	枝番	A	B	C	D	E	F
	定員	16人 () (4人)	14人 () (3人)	13人 () (3人)	()	()	()
<small>※（ ）内は、訓練申込者数が定員の5割以下で開講可能な人数を選択すること。</small>							
7 訓練科目の実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 本科生と同じクラスに編入して実施する <input type="checkbox"/> 独立したクラスとして実施する						
8 1コース1人1月当たりの 訓練実施経費	●●●●●● 円						
	<small>（※様式第A-16号の1人1月当たり訓練実施経費（A+B）を記入すること）</small>						
9 企画提案書添付書類	別紙様式第A-3号から第C-11号まで及び任意様式のとおり						

◆本様式は、提案する科目番号ごとに1枚作成すること。

大阪府委託訓練事業（長期高度人材育成コース）企画提案書

予約をした受付日

令和〇年〇月〇日

大阪府知事様

自由提案科目を提案する場合

住所 大阪市住之江区南港北1-14-16

機関（法人）名 学校法人 ○○○○

代表者職・氏名 理事長 ○○ ○○

大阪府が実施する次の委託訓練を受託したく企画提案書を提出します。

1 訓練の種別	長期高度人材育成コース						
2 科目番号、科目名 ※提案する科目の該当欄（ ）に○印を記入すること。 ※L03からL05の科目を提案する場合は、科目の該当欄【 】に長期仕様書L-11「8訓練内容(1)」の該当する番号を記入すること。 ※L05の科目を提案する場合は、科目名を併せて記入すること。	L01 介護福祉士養成コース	()					
	L02 保育士養成コース	()					
	L03 言語聴覚士養成コース	()					【 】
	L04 精神保健士養成コース	()					【 】
	L05 自由提案科目	(○)					【③】
科目名： ▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲							
3 提案する科目番号の枝番号 ※科目番号の枝番は複数提案可能のため、受託を希望する枝番には全て○をつけること。	枝番	A	B	C	D	E	F
	受託希望	○					
※訓練期間を選択できる科目については、訓練期間を選択すること	訓練期間	12か月					
長期高度人材育成コースは科目番号内の1つの枝番のみの受託とする。(変更できない)							
4 訓練実施施設名	○○○○○○○○校						
5 受託上限枝番数	枝番数： 1						
6 1コース当たりの定員 (開講可能最少人数)	枝番	A	B	C	D	E	F
	定員	10人					
※（ ）内は、訓練申込者数が定員の5割以下で開講可能な人数を選択すること。							
7 訓練科目の実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 本科生と同じクラスに編入して実施する <input type="checkbox"/> 独立したクラスとして実施する						
8 1コース1人1月当たりの 訓練実施経費	●●●●●● 円						
	※様式第A-16号の1人1月当たり訓練実施経費（A+B）を記入すること						
9 企画提案書添付書類	別紙様式第A-3号から第C-11号まで及び任意様式のとおり						

◆本様式は、提案する科目番号ごとに1枚作成すること。

訓練実施施設の教室面積と開講時間

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科（4か月）

機関(法人)名： 株式会社 ○○○○○○○○

訓練実施施設名： ○○○○校

訓練実施施設の教室面積

区 分	内 容				
	教室名	定員 (人)	教室面積 (㎡) ※事務所・休憩エリアは 含まない	訓練生1人 当たりの面積 (㎡)	備考
教室面積等	A教室（○月）	30	80.00	2.66	
	B教室（△月）	30	75.00	2.50	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 開講月により教室が異なる場合は、 教室名の後ろに()書き等で使用月を示す。 </div>				
	面積合計/教室数		77.50	2.58	

※使用する教室の平面図を添付してください。

休講曜日及び訓練科目（コース）の開講時間

① 休講曜日：原則として 土・日・祝日

② 訓練科目（コース）の開講時間

区分	開講時間			休憩時間		
1 限目	9:00	~	9:50	9:50	~	10:00
2 限目	10:00	~	10:50	10:50	~	11:00
3 限目	11:00	~	11:50	11:50	~	12:50
4 限目	12:50	~	13:40	13:40	~	13:50
5 限目	13:50	~	14:40	14:40	~	14:50
6 限目	14:50	~	15:40	15:40	~	15:50
7 限目	15:50	~	16:40			

パソコン設置状況とソフトウェア

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科（4か月）

機関(法人)名： 株式会社 ○○○○○○○○

訓練実施施設名： ○○○○校

※パソコンを使用した訓練の予定が無い場合であっても、使用しない旨を記載し、ご提出下さい。

パソコン設置状況

区 分	内 容
講師のパソコン画面の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオプロジェクター
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
訓練に必要なパソコン及びプリンターの設置状況	・ 訓練生用のパソコン台数 <u>35台</u> （予備も含む）
	・ 教室に配置されているプリンターの台数 <u>2台</u>
その他訓練に必要な設備	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; color: red;"> ※パソコンを使用した訓練の予定が無い場合、使用しない旨を記載 </div>

ソフトウェア（パソコンを必要とする科目のみ記入してください）

区 分	ソフトの名称	バージョン	使用許諾契約
使用するOSの名称及びバージョン	○○○○	○○○○	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
使用ソフトの名称（バージョン）	△△△△	△△△△	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不要
			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不要
			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不要
			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不要
			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不要

いずれかにチェック

※使用許諾契約の必要のないフリーソフトの場合は「不要」にチェックすること。

直近2か年の入学年度における就職状況(令和5年3月卒業まで)

科目番号 : L●●

訓練内容の該当する番号
(仕様書L-11の8訓練内容(1)) : ③
※L03からL05の科目のみ選択

科目名 : ○○○

機関(法人)名 : 学校法人 ○○○○○○○○

【訓練期間が1年間の課程】

入学年度	委託訓練の受託	本科の課程名 又は 委託訓練の科目名	在学期間	① 入学者数	② 中退・ 留年者数	③うち 就職者数	④ 進学者数	⑤ 卒業者数 =①-②	⑥うち 就職者数	就職率 (%)	⑦ 中退者 正社員 就職者数	⑧ 卒業者 正社員 就職者数	正社員 就職率 (%)	国家資格合格率		
														資格名	全国平均 (%)	実績 (%)
(例)	なし	調理師養成学科(全日制)	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	30	5	3	3	25	22	100.0	3	18	84.0	調理師	70.0	75.0
令和4	なし	調理師養成学科(全日制)	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	30	5	2	3	25	22	100.0	2	20	91.7			
令和3	なし	調理師養成学科(全日制)	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日	40	7	1	3	33	25							
計	—	—	—	70	12	3	6	58	47							

訓練内容の該当する番号(仕様書L-11の8訓練内容)が、③又は④の場合は、国家資格合格率の記載は不要。なお、訓練内容の該当する番号が、①又は②の場合は全て記載し、全国平均の率が確認できる資料(ホームページの写し等)を添付すること。

【訓練期間が2年間の課程】

入学年度	委託訓練の受託	本科の課程名 又は 委託訓練の科目名	在学期間	① 入学者数	② 中退・ 留年者数	③うち 就職者数	④ 進学者数	⑤ 卒業者数 =①-②	⑥うち 就職者数	就職率 (%)	⑦ 中退者 正社員 就職者数	⑧ 卒業者 正社員 就職者数	正社員 就職率 (%)	国家資格合格率		
														資格名	全国平均 (%)	実績 (%)
(例)	あり	情報セキュリティ管理者資格コース	令和3年4月1日 ~ 令和5年3月31日	20	5	3		15	15	100.0	3	13	88.9	応用情報技術者試験	20.0	50.0
令和3			~							-			-			
令和2			~							-			-			
計	—	—	—							-			-			

- ※1 提案する科目と同じ訓練期間の直近2か年の実績を記載すること。
直近2か年の実績とは、1年間の課程は令和3年度及び令和4年度の入学生、2年間の課程は令和2年度及び令和3年度の入学生の実績をいう。
- ※2 「本科の課程名」、「在学期間」には、提案する科目と同じ科目の本科の課程名、在学期間を記載すること。また、夜間・土日のみの学科は記載しないこと。
- ※3 ⑤卒業者数は、①入学した者のうち、②中退・留年者を除いた者
- ※4 就職率=(⑥+③)÷(⑤-④+③)×100
- ※5 大阪府の委託訓練を受託していた入学年度は、委託訓練の受講者のみの実績で①から⑧を記載すること。(この場合、④は0名とすること。)
- ※6 ⑦中退者正社員就職者数及び⑧卒業者正社員就職者数は、介護福祉士及び保育士を除く、その他の養成コースのみ記載すること。
- ※7 正社員就職率=(⑧+⑦)÷(⑤-④+⑦)×100
- ※8 国家資格合格率は、訓練内容の該当する番号(仕様書L-11の8訓練内容(1))が1又は2である場合に記載すること。(介護福祉士及び保育士を除く、その他の養成コースのみ記載)
- ※9 国家資格合格率は、全国平均の合格率と事業者の合格実績を記載すること。(介護福祉士及び保育士を除く、その他の養成コースのみ記載)

使用教材等一覧表

科目番号：R●●

科目名：○○○○○科（4か月）

機関(法人)名：株式会社 ○○○○○○○○

訓練実施施設名：○○○○校

(1) テキスト・参考書等

教材のタイトル (テキスト名・出版社名及び価格が確認できる表紙、裏表紙等写しを添付すること)		価格(税込)	使用科目(分野)	備考
1	基本操作①	3,300円	パソコン基本操作	
2	基本操作②	2,200円	パソコン基本操作	
3	Webサイト制作①	2,750円	パソコン演習	
4	Webサイト制作②	価格表示無し	パソコン演習	100ページ
5	Webサイト制作③	1,100円	パソコン演習	160ページ
6	テキストの表紙または裏表紙の写し(教材の名称、出版社名及び価格が確認できるもの)を添付すること また、オリジナル教材等に係る印刷費用等を訓練生負担とする場合、価格欄へ記載すること			
7				
8				
9				
合計金額(税込額)			9,350円	

※オリジナル教材(レジュメ)等価格の明らかでないものに関してはページ数を備考欄に記載のうえ、表紙の教材名をコピーし「価格表示なし」と記載し、写しを添付してください。
 オリジナル教材等に係る印刷費用等を訓練生負担とする場合は、価格欄に記載してください。

(2) 訓練生が負担するその他費用

名称	価格(税込)	備考
USBメモリ	1,500円	
合計金額(税込額)		1,500円

※実習着、ジャージ、帽子、靴、傷害保険料、受験料等、自己の所有に帰属するもの以外は受託者負担としてください。

総 合 計	10,850円
うち訓練生負担額	10,850円

※訓練生負担額の上限は、2、3か月訓練は1.5万円、4、5、6か月訓練は2万円とし、上限額を超える場合は、受託者が負担するものとする。

訓練生の自己負担となるものの一覧表（長期高度人材育成コース）

科目番号： L●●

科目名： 介護福祉士養成コース

機関(法人)名： 学校法人 ○○○○

訓練実施施設名： 理事長 ○○ ○○

(1) テキスト・参考書等

No.	教材のタイトル (テキスト名・出版社名及び価格が確認できる表紙、裏表紙等写しを添付すること)	価格(税込)	使用科目(分野)	備考
1	○○○の基本	1,100	×××の理解	
2	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> テキストの表紙または裏表紙の写し(教材の名称、出版社名及び価格が確認できるもの)を添付すること また、オリジナル教材等に係る印刷費用等を訓練生負担とする場合、価格欄へ記載すること </div>			
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
合計金額(税込額)			1,100 円	

※教材の写し(名称、出版社名及び価格が確認できる表紙、裏表紙等)を添付してください。

※オリジナル教材(レジュメ)等価格の明らかなでないものに関してはページ数を備考欄に記載のうえ、表紙の教材名をコピーし「価格表示なし」と記載して添付してください。オリジナル教材等に係る印刷費用等を訓練生負担とする場合は、価格欄に記載してください。

訓練生負担額	1,100 円
---------------	---------

訓練生の自己負担となるものの一覧表（長期高度人材育成コース）

科目番号：L●●

科目名：介護福祉士養成コース

機関(法人)名：学校法人 ○○○○

訓練実施施設名：理事長 ○○ ○○

(2) その他（テキスト、参考書等以外で訓練生個人負担となるもの）

名称	価格(税込)	使用科目(分野)	備考
実習用ジャージ(上下)	16,500	実習Ⅰ、実習Ⅱ	
実習用靴	3,300	実習Ⅰ、実習Ⅱ	
合計金額(税込額)		19,800 円	

総 合 計 (1) + (2)	20,900 円
------------------------	-----------------

注1) 実習着、ジャージ、帽子、靴、傷害保険料、生協会費・自治会費等、通常、訓練生の所有物になる物や個人負担としているものについて、すべて記入すること。

注2) 養成課程を修了するために必須の実習等で使用する消耗品費、材料費等の費用は個人負担とせず、原則として受託金額に含めること。ただし、本科生の個人負担としている場合は、別途、大阪府と協議すること。

注3) 個人負担となるものであっても、養成課程を修了するための必須要件とならない行事等（学園祭、卒業旅行等）に係る費用は含めないこと。

訓練生負担額	円
---------------	----------

委託訓練カリキュラム

訓練の種類別 (該当する項目は「✓」印)	✓	資格の取得をめざす訓練	✓	デジタル職場実習又は 職場見学等を実施する訓練
訓練科名	Webデザイン制作科(3か月)		就職先の 職務・仕事	
訓練期間(定員)	3か月	(30人)		
訓練受講生の条件	文字入力ができ、Word、Excel等の基本的なパソコン操作ができる。 (Word、Excel等を用いた文書や表作成等)			
訓練目標 (仕上がり像)	Web制作現場で必要とされるデザイン概論、HTMLやCSS等の基礎知識を学び、訴求効果の高いWebサイトの企画・制作・運用・メンテナンス等ができる知識、技能を習得する。			
訓練概要	<p style="color: red;">訓練科名、訓練期間(定員)、訓練受講生の条件、訓練目標(仕上がり像)の記載内容は変更しないこと(自由提案科目を除く)。 訓練概要は200字以内に要約して記入。</p>			
訓練修了後に 受験できる関連資格 ※受験料別途自己負担				
	名称()	認定機関()		
	名称()	認定機関()		

※	科目		科目の内容	時間	
	○	学科		<p>【訓練修了後に受験できる関連資格欄の注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練受講により習得する技能及びこれに関する知識によって訓練修了者が総じて合格できる資格であること ・訓練修了時に資格試験の受験要件を満たす資格であること 	
	実技	安全衛生	<p>【カリキュラム記入上の注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4版片面1枚に収めること ・安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること ・受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること ・就職支援に関する訓練時間については、知識等習得コース仕様書「8 訓練内容」において府が示す必要な講義時間数を設定すること ・「※」の欄については、R01からR10の科目はプルダウンメニューから「DSS」を、R11からR36の科目は「DL」を選択すること ・デジタル分野(R01~R10)の訓練コースについては、様式第A-19号「DX推進スキル標準対応チェックシート」に列挙されている学習項目例に準じた内容を訓練カリキュラムに最低1つ盛り込み、該当するチェック欄にチェックを入れるとともに、様式第A-10号の「科目」欄左の「※」の該当する科目に○を記入すること。カテゴリーA~Dのうち、複数の学習項目にチェックが入っている場合のみ様式第A-10号の訓練概要欄の末尾に【DSS対応】と記載すること。 	3	
		働くことの基本ルール			3
	就				
			訓練時間総合計	6時間	
	字科	6時間	実技	0時間	
			就職支援	0時間	

各科目の時間数の合計と、総合計の時間数が一致しているか確認すること
就職支援については訓練期間や科目により必要時間数が異なるので、仕様書で確認すること

委託訓練カリキュラム

訓練の種類別 (該当する項目は「✓」印)	✓	資格の取得をめざす訓練				
訓練科名	Webデザイナー実践科(4か月) 【49歳以下の方対象】	就職先の 職務・仕事				
訓練期間(定員)	4か月 (20人)					
訓練受講生の条件	文字入力ができ、Word、Excel等の基本的なパソコン操作ができる。 (Word、Excel等を用いた文書や表作成等)					
訓練目標 (仕上がり像)	Web制作現場で必要とされるデザイン概論、HTMLやCSS等の基礎知識を学び、Webサイト作成、更新業務等を行える知識、技能を習得する。さらに、企業実習においては、Adobe等広く使用されているソフトウェアを使い、より実践に即したWeb制作技術を習得する。					
訓練概要	<p>訓練科名、訓練期間(定員)、訓練受講生の条件、訓練目標(仕上がり像)の記載内容は変更しないこと(自由提案科目を除く)。 訓練概要は200字以内に要約して記入。</p>					
訓練修了 受験できる関連資格 ※受験料別途自己負担					名称() 認定機関()	名称() 認定機関()
訓練内容	※	科目	科目の内容	時間		
		訓練導入講習	<p>【訓練修了後に受験できる関連資格欄の注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練受講により習得する技能及びこれに関する知識によって訓練修了者が総じて合格できる資格であること ・訓練修了時に資格試験の受験要件を満たす資格であること 			
				施設内訓練	<p>【カリキュラム記入上の注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4版片面1枚に収めること ・安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること ・受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること ・「※」の欄については、D01からD06の科目はプルダウンメニューから「DSS」を、D07及びD08の科目は「DL」を選択すること ・就職支援に関する訓練時間については、12時間以上設定すること ・デジタル分野(D01~D06)の訓練コースについては、様式第A-19号「DX推進スキル標準対応チェックシート」に列挙されている学習項目例に準じた内容を訓練カリキュラムに最低1つ盛り込み、該当するチェック欄にチェックを入れるとともに、様式第A-11号の「科目」欄左の「※」の該当する科目に○を記入すること。カテゴリーA~Dのうち、複数の学習項目にチェックが入っている場合のみ様式第A-11号の訓練概要欄の末尾に【DSS対応】と記載すること。 	3
						安全衛生
			働くことの基本ルール		3	
			就職支援			
		企業実習	<p>企業実習は108時間で設定すること。</p>			
				<p>各科目の時間数の合計と、総合計の時間数が一致しているか確認すること。就職支援については12時間以上とすること。</p>		
				訓練時間総合計	6時間	
	訓練導入講習	0時間	施設内訓練	6時間	企業実習	0時間

訓練科名	介護福祉士養成コース(2年)		就職先の 職務・仕事	
訓練期間	令和6年4月1日から	令和8年3月31日(24か月)		
訓練目標	厚生労働大臣指定の介護福祉士養成課程のカリキュラムを中心に、座学での知識習得と実践に即した技術を習得し、介護・福祉に関する専門的知識と技能を習得する。			
仕上がり像	介護福祉士資格を有する専門的な人材として、福祉施設の介護職や専門性を活かした職種への就職をめざす。			
訓練概要	<p style="color: red;">訓練科名、訓練期間(定員)、訓練受講生の条件、訓練目標(仕上がり像)の記載内容は変更しないこと(自由提案科目を除く)。 訓練概要は200字以内に要約して記入。</p>			
領域	DL	形態		
			<p>※介護福祉士課程の必修科目、選択必修科目、教養科目等を記載すること。</p>	
			<p>※A4版片面1枚に収めること。 ※安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること。 ※受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること。</p>	
			<p>・訓練分野の特性に対応した基礎的なデジタルリテラシーの要素を含むカリキュラムを1科目以上設定すること。基礎的なデジタルリテラシーの内容については、「仕様書(別紙)デジタルリテラシーの標準的内容」を参考にし、該当科目の「DL」欄に「○」を記載すること</p>	
その他の講座	講義	安全衛生(必須)		3
	講義	働くことの基本ルール(必須)		3
就職支援	<p style="color: red;">各科目の時間数の合計と、総合計の時間数が一致しているか確認すること。就職支援については12時間以上とすること。 また、介護福祉士養成コースは、合計で1850時間以上、保育士養成コースは合計で1400時間以上、その他の資格コースは合計で1年間700時間×年数の設定(ただし条件あり)とすること。</p>			
学科	時間	実技	時間	就職支援 時間

委託訓練カリキュラムの作成に関する調書

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科(4か月)

機関(法人)名： 学校法人 ○○○○

訓練実施施設名： ○○○○○○○○校

※文字サイズ10.5ポイント以上、行追加可、上限A4 片面2枚)

訓練科目名	○○○○○科(4か月)							
提案カリキュラムの時間配分								
学科	○○○	時間	実技	△△△	時間	就職支援	□□□	時間
1 本科目に関連する業種・業態に応じて把握・分析した求人ニーズ・求職ニーズについて、その裏付けとなる根拠データ等を示しながら、具体的内容を記載してください。※出典元等も記載してください。								
2 把握・分析した求人ニーズ・求職ニーズを踏まえ、訓練目標(仕上がり像)に対応した人材とするために、カリキュラムの設定や時間配分等をどのように工夫したのかを具体的に記載してください。								
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;"> 必要に応じて、行を追加してください(A4 片面2枚を制限とする)。ただし、いずれの項目も、別紙に記入することなく、この様式第A-13号にまとめること </div>								
3 本科目で主な訓練対象者として想定する者を明示するとともに、対象者として想定した理由及びその者が就職できない要因について具体的に記載してください。 ※複数の対象者を想定する場合は、それぞれについて記載してください。								
【訓練対象者】								
【対象者として想定した理由】								
【就職できない要因】								
4 上記3で想定した訓練対象者が就職できない要因を踏まえ、就職に結びつけるために工夫する点を具体的に記載してください。								

委託訓練カリキュラムの作成に関する調書

科目番号：D●●

科目名：○○○○○科(4か月)【49歳以下の方対象】

機関(法人)名：学校法人 ○○○○

訓練実施施設名：○○○○○○○○校

※文字サイズ10.5ポイント以上、行追加可、上限A4片面2枚)

訓練科目名	○○○○○科(4か月)【49歳以下の方対象】							
提案カリキュラムの時間配分								
訓練導入講習	○○○	時間	施設内訓練	△△△	時間	企業実習	□□□	時間
1 本科目に関連する業種・業態に応じて把握・分析した求人ニーズ・求職ニーズについて、その裏付けとなる根拠データ等を示しながら、具体的内容を記載してください。※出典元等も記載してください。								
2 把握・分析した求人ニーズ・求職ニーズを踏まえ、訓練目標(仕上がり像)に対応した人材とするために、カリキュラムの設定や時間配分等をどのように工夫したのかを具体的に記載してください。								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red;"> 必要に応じて、行を追加してください(A4 片面2枚を制限とする)。ただし、いずれの項目も、別紙に記入することなく、この様式第A-14号にまとめること </div>								
3 本科目で主な訓練対象者として想定する者を明示するとともに、対象者として想定した理由及びその者が就職できない要因について具体的に記載してください。 ※複数の対象者を想定する場合は、それぞれについて記載してください。								
【訓練対象者】								
【対象者として想定した理由】								
【就職できない要因】								
4 上記3で想定した訓練対象者が就職できない要因を踏まえ、就職に結びつけるために工夫する点を具体的に記載してください。								

就職支援体制に関する調書

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科(4か月)

機関(法人)名： 学校法人 ○○○○

訓練実施施設名： ○○○○○○○○校

就職支援計画 ※文字サイズ10.5ポイント以上、行追加可、上限A4片面2枚)

1 実施を予定している就職支援項目にチェックしてください。(複数選択可)

①キャリア・コンサルティングの実施 ②職務経歴書・履歴書等の作成指導
 ③面接指導 ④職業相談 ⑤求人情報の提供 ⑥求人企業の開拓
 ⑦自ら収集した求人情報の提供 ⑧開拓求人企業による企業説明会の実施
 ⑨企業の人事担当者等による就職講話・懇談会の実施
 ⑩その他 () 内に記載すること (項目：)

2 様式第A-13(A-14号)3で本科目の主な訓練対象者と想定した者に対して実施する、上記1の就職支援項目について、チェックした項目の具体的取組内容と得られる効果を記載してください。
 ※①～⑩は上記1に対応した番号

	具体的内容	得られる効果
①		
②		
③		
④	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;"> 必要に応じて、行を追加してください(A4 2枚を制限とする)。ただし、いずれの項目も、別紙に記入することなく、この様式第A-15号にまとめること </div>	
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

3 上記2に記載したほか、充実した就職支援を行うために工夫する点を具体的に記載してください。

目標就職率を記載すること

目標とする就職率を記入してください。 %

大阪府委託訓練実施経費見積書

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科（4か月）

機関(法人)名： 学校法人 ○○○○

訓練実施施設名： ○○○○○○○○校

【定員30人】 【訓練4か月】

項目	金額(円)	積算内訳
指導員経費	○○,○○○	時給○,○○○円×総訓練時間数432時間
実習費	なし	
施設設備利用料	○○,○○○	水道光熱費、PC等維持費 (○○,○○○円×4か月)
その他	○○,○○○	事務経費、通信費、印刷費 (○○,○○○円×4か月)
経費	○,○○○,○○○	
1人1月当たり経費(A)	△△,△△△	(経費) / (定員×訓練期間)
消費税10%(B)	△△△	(A) × 10 / 100
1人1月当たり 訓練実施経費(A+B)	●●,●●●	

訓練実施に要する経費として、上記のとおり見積ります。

令和○年○月○日

提案書提出日

住所 大阪市住之江区南港北1-14-16

機関(法人)名 株式会社 ○○○○○○○○

代表者職・氏名 代表取締役 ○○ ○○

注「1人1月当たり経費(A)」、「消費税10%(B)」欄については端数が生じた場合、小数点以下を切り捨てること。

職場見学等実施計画書

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科（2か月）

機関(法人)名： 株式会社 ○○○○○○○○

訓練実施施設名： ○○○○校

No	サービス種類 (注1)	事業所名	所在地	連絡先	職場見学、職場体験、 職場実習の別 (注2)	実施予定日(時間)	受入予定人数	備考 (注3)
例	介護老人福祉施設	社会福祉法人●● ●●の郷	大阪府△△市●●1-1-1	00-0000-0000	職場体験	●月●日(●h) ●月×日(●h)	5人	実施予定日、受入人数については調整中。
1								
2								
3								
4								
5								

(注1) 介護保険法又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の規定に基づくサービスの種類を記載すること。

(注2) 以下を参考に選択すること。

職場見学：介護（障害）福祉サービス利用者（以下「利用者」という。）のいる時間帯に福祉施設等を訪問し、施設職員の説明を受けながら福祉サービス提供の実態を見学すること。

職場体験：一つの福祉施設等において、当該施設職員の指導を受けながら、施設職員が利用者に提供するサービスの補助等を行うこと。

職場実習：一つの福祉施設等において、当該施設職員の指導を受けながら、利用者に提供するサービスについて法令の範囲内で行うこと。

(注3) 調整中の事項については備考欄にその状況を記載すること。

デジタル職場実習実施計画書

科目番号： R●●

科目名： ○○○○○科（4か月）

機関(法人)名： 株式会社 ○○○○○○○○

訓練実施施設名： ○○○○校

No	事業所名	所在地	連絡先	実習内容	実施予定日	実施予定日数	受入予定人数	備考（注）
例	(株) ○○	●●	000-000-0000		○年○月○日 ～○年○月○日	15日	10人	実施予定日、受入人数については調整中。
1	○○株式会社	●●	000-000-0000		○年○月○日～○年○ 月○日	15日	5人	
2								
3								
4								
5								

（注）調整中の事項については備考欄にその状況を記載すること。

（注2）以下を参考に選択すること。

職場見学：介護（障害）福祉サービス利用者（以下「利用者」という。）のいる時間帯に福祉施設等を訪問し、施設職員の説明を受けながら福祉サービス提供の実態を見学すること。

職場体験：一つの福祉施設等において、当該施設職員の指導を受けながら、施設職員が利用者に提供するサービスの補助等を行うこと。

職場実習：一つの福祉施設等において、当該施設職員の指導を受けながら、利用者に提供するサービスについて法令の範囲内で行うこと。

（注3）調整中の事項については備考欄にその状況を記載すること。